



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

2025年11月14日

証券コード:5356(東証スタンダード・名証メイン)

Contents

01

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算報告

02

2026年3月期 業績予想



2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算報告



売上高

78.3億円

前年同期比 +8.3%

営業利益

6.5億円

前年同期比 Δ 9.0%親会社株主に帰属する
当期純利益

5.8億円

前年同期比 +10.1%

外部環境

- ・ 耐火物セラミックス事業は、セメント市場漸減に加えて価格競争が激化
- ・ プラント事業は、工事需要が旺盛
- ・ 建材及び舗装用材事業は、大阪関西万博開催に伴う関西方面の工事停止の影響あり

内部環境

- ・ 全社的な賃上げの影響もあり、営業利益は前年同期比 Δ 9.0%
- ・ 政策保有株縮減により、当期純利益は前年同期比+10.1%

◆ 連結決算概要

2026年3月期 第2四半期(中間期)



- 各セグメント、価格改定やシェアアップに努め、増収を確保も、価格競争、賃上げによる労務費上昇により減益
- 政策保有株売却により親会社株主に帰属する中間(当期)純利益はプラス

(百万円)

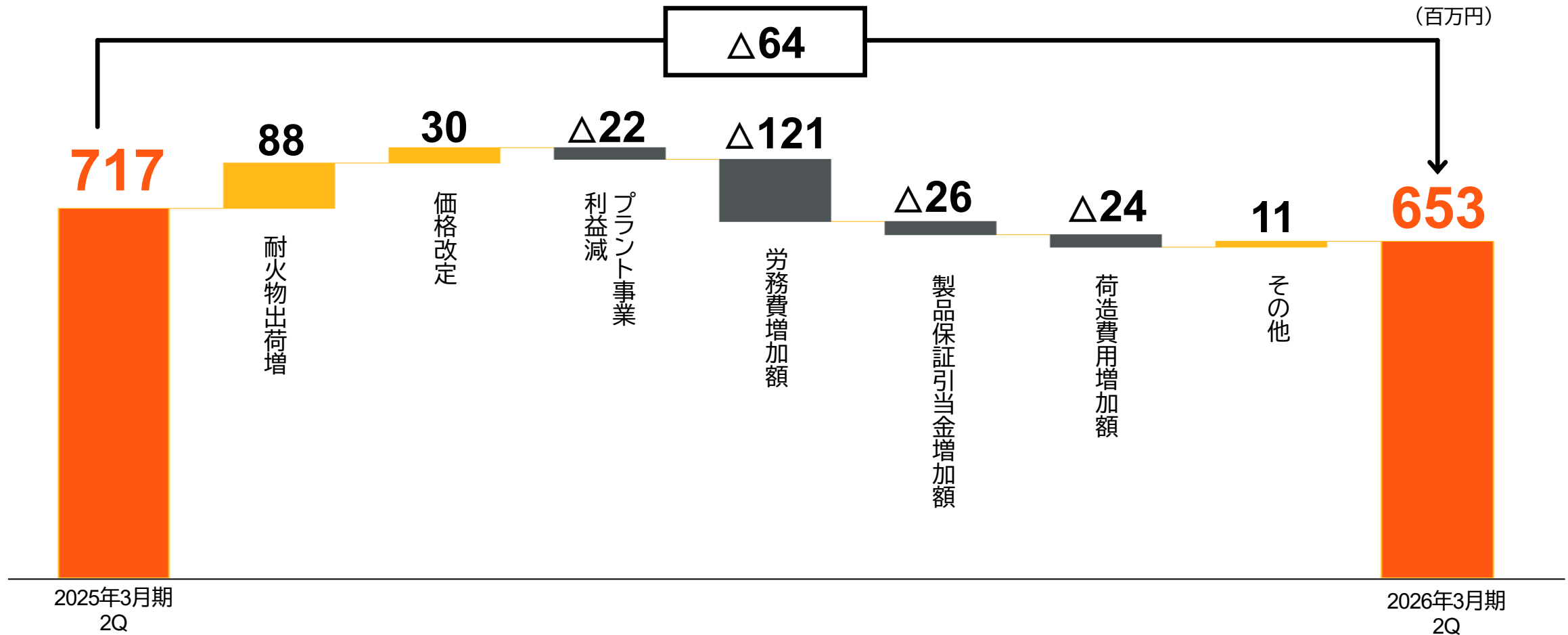
	2025年3月期 2Q実績	2026年3月期		前年同期比 (増減額)	2026年3月期 通期予想※	進捗率
		2Q実績	売上比			
売上高	7,232	7,831	—	8.3% (+599)	16,000	49.0%
営業利益	717	653	8.3%	△9.0% (△64)	1,750	37.3%
経常利益	774	721	9.2%	△6.9% (△53)	1,850	39.0%
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	531	584	7.5%	10.1% (+53)	1,300	45.0%
1株当たり 中間(当期)純利益	51.79円	56.99円	—	+5.2円	126.76円	—

◆ 連結営業利益の増減分析

2026年3月期 第2四半期(中間期)



連結営業利益の主な増減は耐火物出荷増に伴う利益アップ88百万円や価格改定の利益寄与分30百万円等となった反面、労務費の上昇△121百万円と耐火物セラミックス事業で発生した製品保証引当金の増加額△26百万円があり、前年同期比で△64百万円の減益



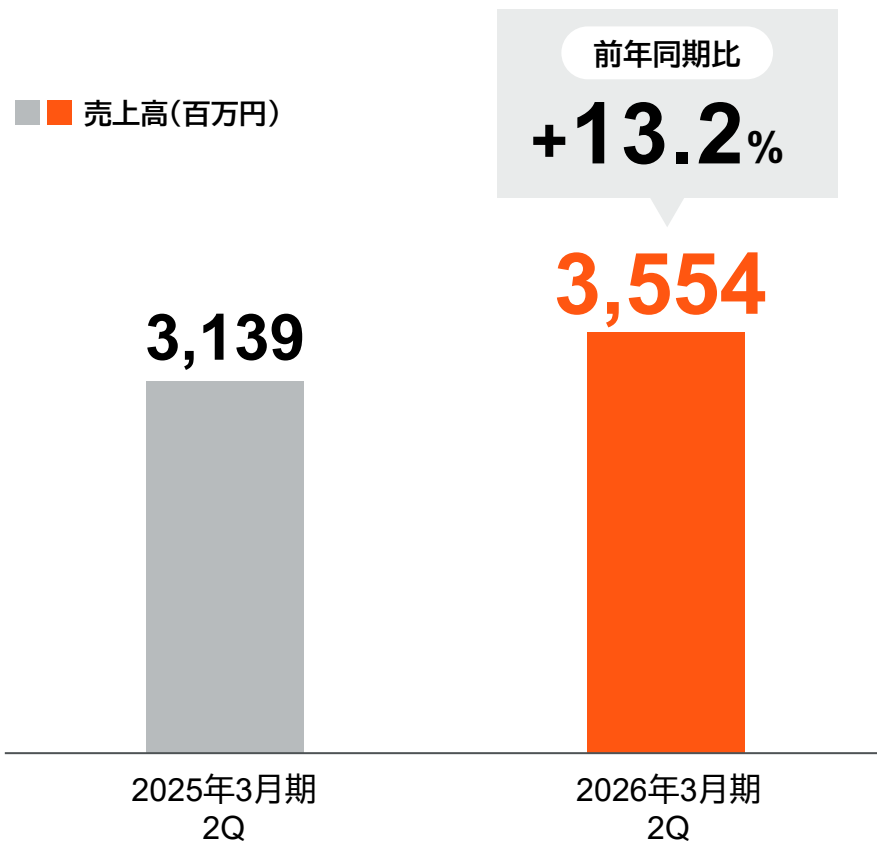
- 各セグメントの詳細はP.8-10をご参照ください

(百万円)

		2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比
耐火物セラミックス	売上高	3,139	3,554	+414 (+13.2%)
	セグメント利益	200	146	△54 (△27.0%)
プラント	売上高	2,780	3,060	+280 (+10.1%)
	セグメント利益	388	321	△67 (△17.3%)
建材及び舗装用材	売上高	1,040	958	△82 (△7.9%)
	セグメント利益	33	53	+20 (+60.4%)
不動産賃貸	売上高	198	198	0 (△0.2%)
	セグメント利益	94	99	+5 (+5.3%)
その他	売上高	73	60	△12 (△17.4%)
	セグメント利益	11	18	+6 (+54.3%)
調整額	セグメント利益	△11	13	+24 -
合計	売上高	7,232	7,831	+599 (+8.3%)
	営業利益	717	653	△64 (△9.0%)

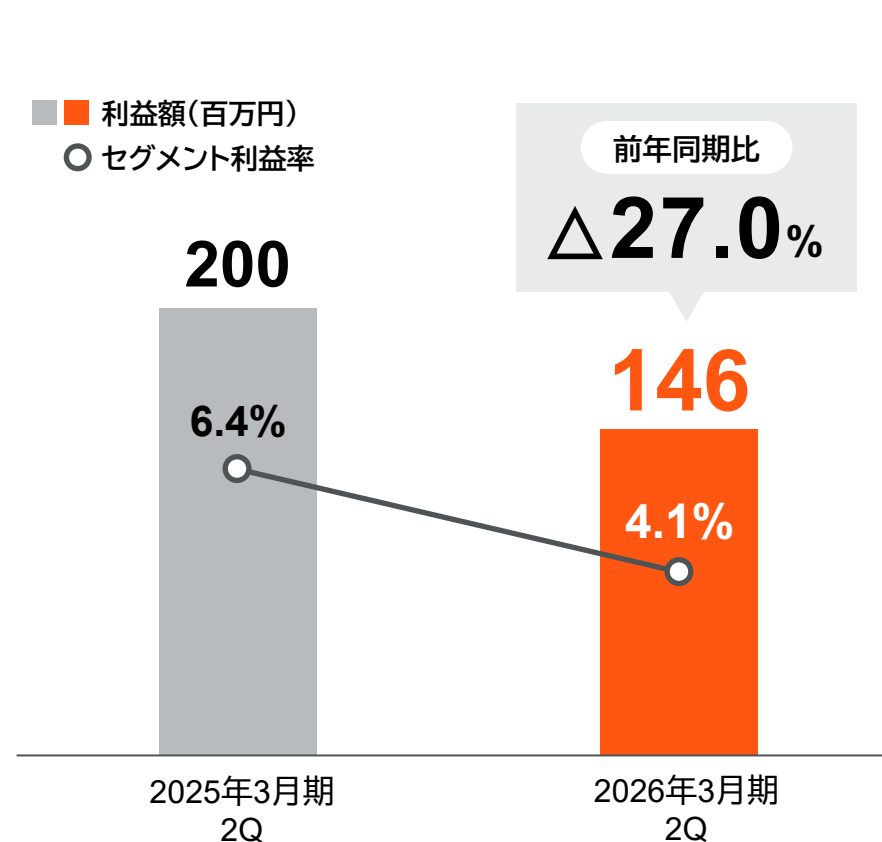
売上高

既存取引先へのシェアアップや、
新規取引先の開拓などにより増収



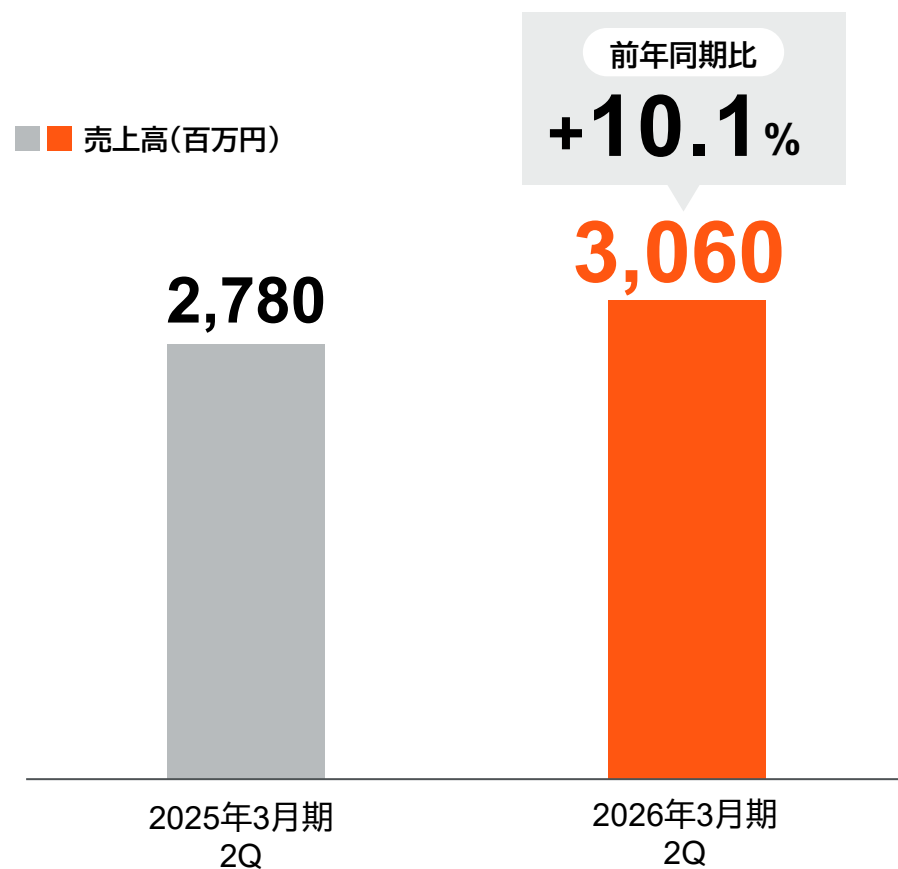
セグメント利益

主力耐火物の価格競争に加えて、人件費や資材
価格の上昇等により減益



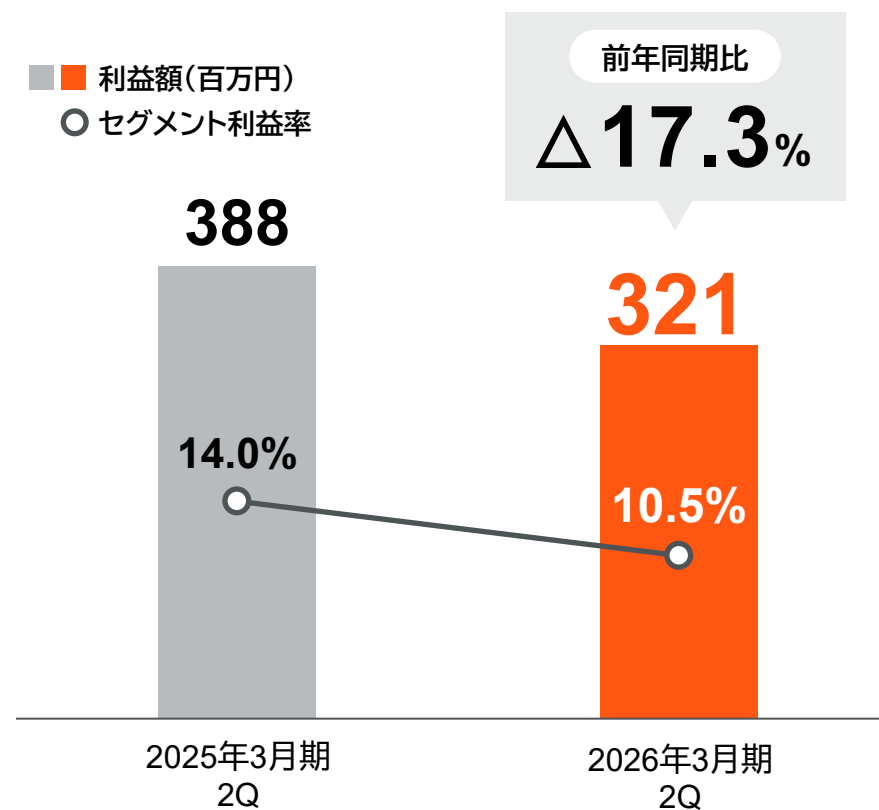
売上高

工事部門が堅調に推移し増収



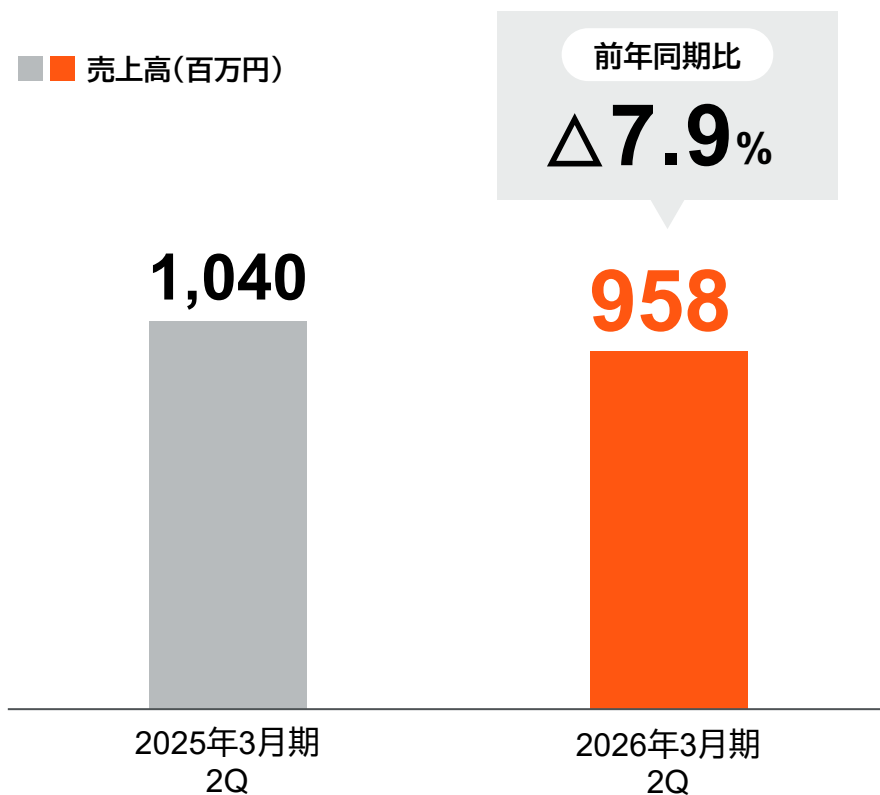
セグメント利益

工事部門は堅調に推移したが、売上構成比の変化もあり利益率が低下し減益



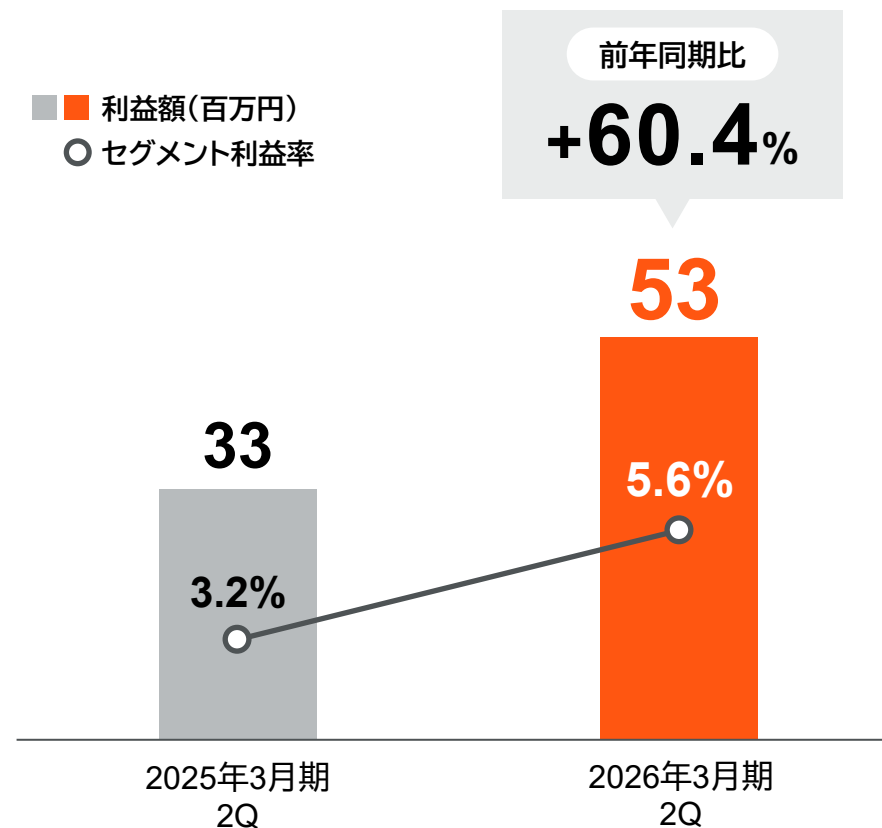
売上高

大阪・関西万博開催に伴い、関西圏における
工事需要が減少し減収



セグメント利益

価格改定の推進等により増益



◆ 連結貸借対照表

- ✓ 利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等により、自己資本比率は68.0%で維持
- ✓ 健全な財務基盤を維持

	(百万円)			
	2025年3月末	2025年9月末	増減額	
流動資産	12,939	13,187	+248	- 現金及び預金 +281 - 受取手形、売掛金及び契約資産 △229 - 棚卸資産 +195
固定資産	8,396	8,979	+582	投資有価証券 +646
資産合計	21,336	22,167	+831	- 支払手形及び買掛金 △118 - 短期借入金 △100 - 前受金 +677
流動負債	5,174	5,340	+165	
固定負債	1,654	1,762	+107	長期借入金 +100
純資産	14,507	15,065	+557	- 利益剰余金 +382 - その他有価証券評価差額金 +173
負債・純資産合計	21,336	22,167	+831	
自己資本比率	68.0%	68.0%	-	参考(2025年9月末時点) - 有利子負債残高 1,440 - D/Eレシオ 0.10倍

◆ 連結キャッシュ・フロー

- ✓ 売上債権の増加等により、現金及び同等物は4,285百万円へ増加
- ✓ キャッシュを確保しつつ、中長期的成長を見据えた投資・株主還元を強化

	(百万円)			
	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比	
営業活動による キャッシュ・フロー	179	1,190	1,011	売上債権及び契約債権の減少額等
投資活動による キャッシュ・フロー	△164	△829	△665	投資有価証券の取得による支出等
フリー・キャッシュ・フロー	15	361	346	
財務活動による キャッシュ・フロー	△220	△229	△9	配当金の支払等
現金及び現金同等物	3,676	4,285	+608	



2026年3月期 業績予想



◆ 業績予想 2026年3月期



- 高成長・高収益が期待されるセラミックス事業、プラント事業への経営資源の投下により拡大を図る
- 新市場、新製品、新規事業の開発による売上拡大を目指す
- 通期の業績予想は据え置き

(百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期		前年同期比 (増減額)
		予想	売上比	
売上高	15,058	16,000	—	+6.3% (+942)
営業利益	1,576	1,750	10.9%	+11.0% (+174)
経常利益	1,680	1,850	11.6%	+10.1% (+170)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,217	1,300	8.1%	+6.8% (+83)
1株当たり配当金	35.0円	42.0円	—	+20.0% (+7.0)

◆ 株主還元方針

事業成長に必要な内部留保を確保したうえで、新中期経営計画最終年度の配当性向40%程度を目指す

